

## ケアマネ試験 5.4万人受験 5年ぶりに前年度より減少

厚生労働省は、10月13日に行われた第27回介護支援専門員実務研修受講試験の全国の受験者数が5万3,718人だったと発表しました。前年度よりも2,776人少なくなりました。

2018年度に要件が見直され介護実務経験での受験ができな

くなった際、前年度で13万人あまりいた受験者が、約4.9万人と4割ほどにまで激減し、合格者も初めて5,000人を割りました。

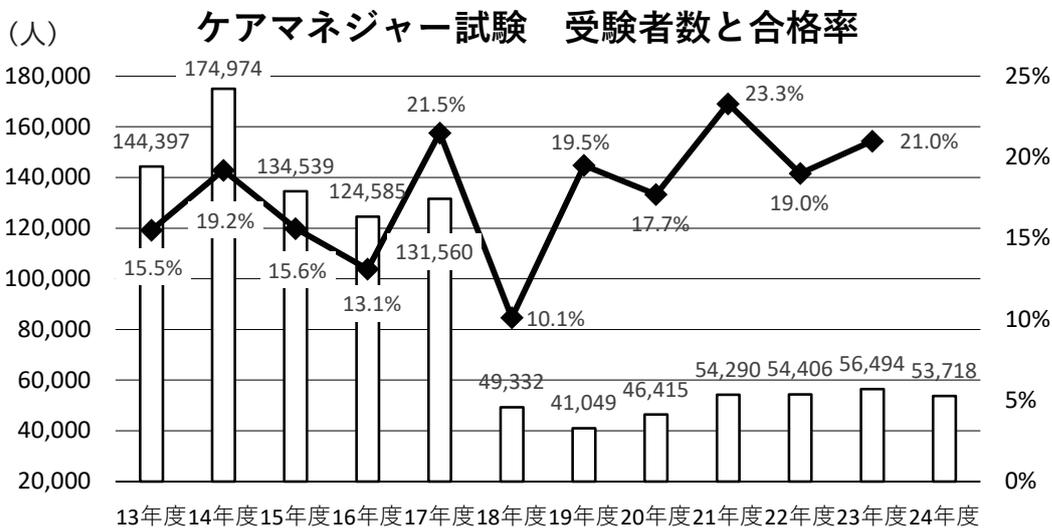
翌19年度は試験当日に大型台風が接近したため、13都県で試験が中止になり、翌年の3月に再試験が行われました。その年の受験者は4万1,049人と前年度からさらに減りましたが、合格率は19.5%と9.4ポイントも伸びました。20年度以降は受験者数も増加に転じ、昨年度まで4年連続で増えてい

### 近畿の受験者数(人)

	受験者数	対前年度
滋賀県	598	-47
京都府	1,309	-104
大阪府	3,826	-24
兵庫県	2,522	-73
奈良県	621	-41
和歌山県	500	0

ましたが、今年度は5年ぶりに減少に転じました。近畿でも、和歌山県(前年度と変わらず)を除き各府県で受験者が減っています。

介護現場では、ケアマネジャー不足が深刻で、ケアマネジャーの業務範囲などについて議論する厚労省の検討会でも、▽業務範囲の検討に伴う試験内容の適正化▽受験対象である国家資格の範囲の拡大▽他の相談援助の国家資格の合格率も参考としながら、合格率そのものを見直しつつ、実務研修を充実させることにより質の担保を図る——などの意見も挙がっています。



## 介護福祉士国試の「パート合格」 科目の3分割パターン公表

厚労省は先ごろ、2025年度から導入予定の介護福祉士国家試験での「パート合格」の内容について、報告書を公表しました。

全13科目を▽Aパート(6科目・60問):介護の基本、社会の理解、生活支援技術など▽Bパート(5科目・45問):認知症・障害の理解、医療的ケアなど▽Cパート(2科目・20問):介護過程、総合問題——の3つに分割して試験を行います。

初回は全員が全パートを受験。全パートの総得点で合否判定し、不合格だった場合はパートごとに合否を判定します。合格パートは翌年の受験が免除されます。再受験時に合格したパートを改めて受験するかどうかは受験者が選びます。パート合格後の試験免除の有効期限は、受験年の翌々年までとなっています。